

事業概要

モデル事業名	被災地と連携した就業・福祉・子育て支援付き住宅ストックBANK事業
分類	<input type="checkbox"/> 一般枠 <input type="checkbox"/> 重点化枠 <input checked="" type="checkbox"/> 震災対応案件
事業実施 主体名	豊中コレクティブ住宅ストックBANK推進会議
実施期間	平成24年 4月 27日～平成25年 3月 31日
支援額	7,000,000円
マルチステークホルダー (会議体)の 取組状況	構成団体名： 一般社団法人コミュニティマ社 [※] ネット協会・CASE まちづくり研究所・ 近畿大学建築学部地域マ社 [※] ネット研究室・近畿大学人権問題研究所・ 豊中市ハートソール [※] ネット運営協議会・豊中市市民協働部雇用労働課
目的・趣旨	被災地と連携し、震災避難者特に母子世帯等の被災地外での生活再建と就業困難な状況を総合的に支援し、被災地とのつながりを深めながら地域の民間空き家ストックを活用して「交流拠点・居場所」+「ケア付き一時避難住宅」を提供し、受入れ地域においても地域コミュニティの再生の一助とする。
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ケア付きコレクティブ住宅ストックBANK事業 <ol style="list-style-type: none"> ① 既存協力住宅を活用してのモデル事業展開 ② サブリース等の手法を用いたストック住宅活用コーディネート業務 ③ 地域不動産関連ヒアリングを通じて空き家活用手法の事業提案 ④ ③の情報のストックバンク情報としての整理・事業主体立ち上げ等の研究 2. 生活総合支援事業（就労・福祉・育児・地域支援） <ol style="list-style-type: none"> ① 入居者への多様な職場体験・研修プログラムの提供・実施 ② 入居者への雇用・就労機会の提供・支援（出口支援） ③ 入居者への生活支援・相談・キャリアコンサルティングの提供 ④ 共用サロン住宅を活用した居場所運営（地域の方の参加呼びかけ含む） ⑤ 上記活動を通じての受入れ側地域コミュニティの熟成 3. 県外被災者実態ヒアリング調査（被災地の協力組織と連携） <ol style="list-style-type: none"> ① 入居者等県外避難者へのヒアリング調査の実施と今後の環境移行計画策定 4. 被災者情報・住宅情報コーディネート事業（被災地の協力組織と連携） <ol style="list-style-type: none"> ① 被災者ニーズ等と一時避難住宅情報のシェア ② 被災地でのまちづくり展開・制度情報等を楽しめるIT環境整備等 ③ 受入れコミュニティと被災地コミュニティとの連携支援事業の推進